

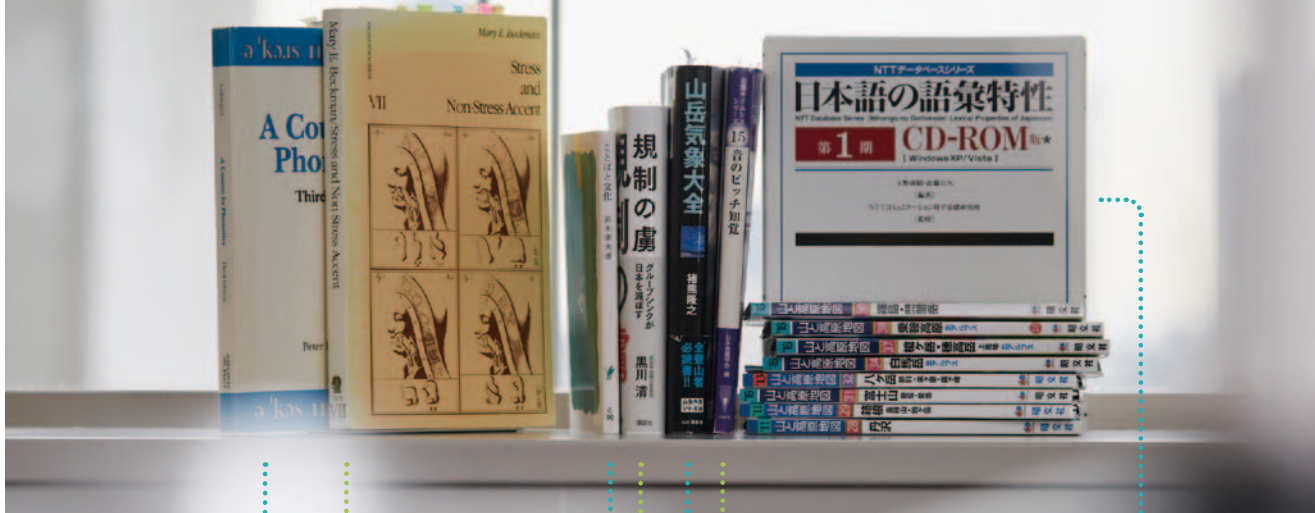
Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2017
Jtitle	新版 窮理図解 No.26 (2017. 11) ,p.7- 7
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000026-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の 本棚

My favorite books



あまりにも有名な 音声学の本

● A Course in Phonetics

音声学の専門家に限らず、北米で言語学を学んだ人なら誰でも知っている、音声学の入門書です。著者は1964年の映画「マイ・フェア・レディ」で発音や音声表記の指導をした人でもあります。この本のインターネットのサイトでは、世界の様々な言語の音声を聞くことができます (<http://www.phonetics.ucla.edu/index.html>)。

日本語と英語の音声は どう違うの？

● Stress and Non-Stress Accent

私の研究の原点となる本の1冊です。日本語のピッチアクセントと英語のストレスアクセントの音響特徴や言語学的機能の類似性や相違点について実証的に比較した、先駆的な研究です。大学院生の頃に必死に読みました。難しい本で、教授や同僚とあれこれ議論したのが懐かしい思い出です。

日本の組織 について考える

● 規制の虜

—グループシンクが日本を滅ぼす

アメリカで学生生活を送るなかで様々な国の留学生と交流し、日本がいかに暮らしやすいか、また日本人はいかに恵まれているかを実感しました。その一方で、この本や『失敗の本質』にあるように、組織のトップが責任を取らない、目先の利益にとらわれて、楽観的で安直な判断を下す傾向があるなど、日本の社会は不思議だなど思うこともあります。

ことばと世界の見え方

● ことばと文化

高校の現代文の教科書に、この本の一部が掲載されていたのを読み、言語学に興味を持ちました。言語と文化は密接につながっていて、話す言語が違うと世の中の見え方まで変わってくるかもしれないと衝撃を受けました。著者の鈴木孝夫先生は、現在私が所員でもある、三田キャンパス言語文化研究所の所長をお務めになった方で、慶應に就職してからお話する機会にも恵まれました。

人体の不思議

● 音とピッチ知覚

ピッチとは感覚的な音の高さのことをさします。日本語はピッチアクセント言語と呼ばれ、母音と子音に加え、音の高さで単語を区別します。例えば、標準語の箸と橋がその例です。私たちは当たり前のように音の高さを聞き取りますが、その仕組みについてはまだ分からないことがたくさんあります。人間の体は不思議です。

山の天気は面白い！

● 山岳気象大全

山の天気は変わりやすく、気象についての知識があると、事故の防止につながります。気象遭難はしたくないの思いから読み進めるうちに、気象そのものに興味を持つようになりました。でも知れば知るほど気象は奥深く、素人にはしょせん分からないと途方にくれることもしばしばです。

日本語 データベースの決定版

● 日本語の語彙特性

本と言うよりはデータベースです。私たちが単語を認識する速さや精度は、私たちがその単語にどれくらい馴染みがあるかや、その単語に似た単語がどれくらいあるかなどに影響を受けます。そのため、実験ではこれらをコントロールする必要があります。このデータベースは日本語約10万語の詳しい語彙情報を掲載した、たいへん貴重な資料です。